

やまのひろし

発行
八木学区
社会福祉協議会



ひろしまエルモの参加検討中

八木学区社会福祉協議会 会長 関城 良典

ひろしまエルモとは、広島市が薦める広島型地域運営組織です。おおむね学区を活動範囲とした組織で、八木の場合でいうと、八木小学校区の社会福祉協議会や連合町内会などが中心となって設立する組織です。

- ① 広範囲な連携によって、多様な人材が集まり、人材、情報、ノウハウが共有できる
- ② 若い世代が参画することによって、コンピュータの活用による効率的、効果的な団体運営を行うことができる。
- ③ 新たな人材が集まることにより、地域の次の担い手を確保することができる
- ④ 地域課題の解決に向けた様々な取り組みにより地域の一体感の醸成や活力が向上するなどが期待できます。

エルモの組織のイメージ



エルモに参加することによって広島市からは毎年、手厚い補助を受けることができます。

① 活動拠点の人件費。300万円

② 活動拠点の賃料や各種管理費、及び地域である程度自由に使える地域課題を解決するための事業費、300万円

④ 体育協会などの地域団体交付金の増額

これらの補助金を使って何ができるか？まだ具体的には何も決まっていませんが、できそうなものに以下のものがあります。

- ① 子育て中のお母さんや、退職してもさらに働く意欲のある方に、エルモ活動拠点で働いてもらう
- ② 活動拠点を、みんなが集まりやすい場に作り、誰でも自由に出入りできる集いの場を作る
- ③ 盆踊りやふれあい祭りなどすでに八木に定着しているイベントへの補助を増額する
- ④ 若い人を中心に、地域コミュニティを盛り上げる新たなイベントを企画する

エルモの補助金の使い道にはあまり制限はなくアイデア次第です。他地区では田植えの体験、小学校での映画観賞会、高齢者の昼間の居場所づくりなど、いろいろな使われ方がされています。



エルモで働く



田植え体験



映画観賞会

このようにエルモへの参加は多くのメリットがあります。しかし、エルモの組織を運営していくことは大変な労力が伴います。皆さんのご理解とご協力なしには到底不可能ですので、どうかエルモ参加について前向きにご検討いただきたく思います。お願い申し上げます。

エルモの今後の進め方ですが、今年度中に八木学区社会福祉協議会の臨時総会

を開き決議したいと考えています。その場でご承認いただければ、すぐにエルモ組織を立ち上げ、半年後を目途に、広島市のエルモ認可を受ける予定です。

エルモ先進地区見学

八木学区社会福祉協議会

会長 関城 良典

7月2日、すでにエルモの認定を受け、エルモの活動を開始している山本学区に、社会福祉協議会のメンバーと共に見学に行きました。山本学区では、山本学区社会福祉協議会会長でなかつ、やまもとエルモ街づくり委員会会長である小堀さん、やまもとエルモ街づくり委員会事務局長の沖野さんをはじめ10名近くの方にお出迎えいただき、エルモの設立準備段階から現在に至るまでのいろいろな話を聞くことができました。

山本学区では、2012年に第1次やまもと福祉のまちづくりプラン（以下プランといいます）を作成、2023年、第2次プランを作成し、それをベースにエルモの組織を作ったとのことでした。このプランの良いところは、地域の課題の進捗状況を毎年チェックしていることです。作りっぱなしではないところが大変素晴らしいと思いました。

プランの中には、八木にも当てはまるところが多々ありましたので、会長の小堀さんに八木でもこのプランを参考にさせてもらっていかと聞きまわりましたところ、快諾いただきましたので、八木学区のエルモの設計の際には大いに参考にさせていただきます。

最後にエルモの事務所も見学させていただきました。少々手狭でしたが、これでもエルモができてきたんだと、大変参考になった見学でした。



やまもと福祉のまちづくりプラン

【第2次 5カ年計画】

下一ツ矢町内会防災訓練 副会長 藤田 章

下一ツ矢町内会では昨年度より防災訓練を実施しており、昨年度は避難経路・避難所の再確認を安佐南区役所との合同でおこないました。
今年度は（平成26年8月の豪雨災害の地）に開館しました広島市豪雨災害伝承館への訪問を決め、7月21日（日）役員・各班長とともに来館しました。



施設は少し高台にあり、復興した町並みを見下ろせる反面、山側を見ればすぐまじかに災害の爪跡が残っている事が印象的でした。
館内に入り被災者のインタビュー映像・展示スペースを見学後、防災訓練として副館長による災害図上訓練を行いました。
地図上に団地があり、その一部に自宅があると言う想定で、雨の状況を見つつ気象情報を踏まえ、あなたなら避難を「いつ」「だれと」「何を」もって「どこ」の道を通って「どこへ」と言う課題に、参加者からは数々の意見が上がりました。
地図上には近隣に小・中学校があり、川向こうには市役所や公民館、大型スーパーやキャンプ場があるなかで、避難指示発令後、町内会指定避難所でもある学校へ避難すると言う意見が半数以上でしたが、副館長より総括があり、避難先での水と食料の確保が重要との事で、早めの段階で大型スーパーへの避難を推奨していただきました。
2時間ほどの滞在でしたが、参加者全員改めて考えさせられる思いでした。

月曜クラブ 月曜クラブ世話人 田中 早苗

7月1日、長らく楽しみにしていた木下大サーカス。やっと観覧することが出来ました。そしてこの日が丁度、無料の日でもあり超ラッキーでした。月曜クラブの皆さんの日頃の行いの賜物です。
華やかなオープニングから始まり、可愛らしいシマウマのショーもあればライオンのショーもあり迫力満点でした。また、空中ブランコにバイクやイリュージョンのパフォーマンス。どれも見応えがありました。観客を巻き込んでのピエロのショーはとても面白かったです。



コロナ禍で中止となっていたイベントが再び開催され月曜クラブの皆さんと楽しい時間を共有でき嬉しく思う一日でした。

百歳体操世話人・見守り協力員交流会 百歳体操世話人 藪 広美

7月11日八木集会所で「百歳体操世話人・見守り協力員交流会」を行いました。10地区から20名が参加され4グループに分かれて、活動の中で苦労している事や問題点などの意見交換をしました。
たぐさんの意見の中皆さまの共通した感想は「お世話をするのは大変だが、1週間に一度、参加者の方々の笑顔に会えるから嬉しい」ということでした。



今後の課題は、若い方や男性の参加者が少ないことで、それに対し回覧や、掲示板を利用したり、個別のさそい

をしているということでした。また、個別に見守り協力員として活動されている方からも、「2、3日に1度くらい訪問をして個別カードを作成している。」というお話も聞きました。

最後に安佐南区社会福祉協議会推奨の「モルック」というゲームで、各グループから参戦して大いに盛り上がりました。安佐南区社会福祉協議会及び城山北・城南地域包括支援センターの皆様、多大なご協力をいただきありがとうございます。

ボランティアについて 八木学区社会福祉協議会 会長 関城 良典

八木学区社会福祉協議会では、今年4月より八木学区を山手・城山地区、別所地区、迫細、一ツ矢地区、細野・鳴渡し地区の4つに分け、それぞれにボランティアコアコーディネーターを配置して、皆様からのボランティアの要望を受け付ける体制を整えました。また、百歳体操でも、毎月の城山北・城南地域包括支援センターへの報告書の中で、ボランティアの要望を受付できるように変更しました。
4月以降のボランティアの出勤状況ですが、植木の伐採、草刈りが2件、ごみ出しの相談1件と大変少ない状況です。本当に皆さんがボランティアを必要としないのであればそれで良いのですが、もし本当にお困りの方は、八木学区社会福祉協議会事務局まで電話いただくか、百歳体操の際、世話人さんへボランティアの要望をお伝えください。八木学区社会福祉協議会事務局の電話は以下の通りです。

（火木土曜日の午前10時から12時）
電話 082-962-2800
FAX 082-962-2810
納涼そーめん流し
別所第二自治会 山田 征子

8月10日暑さ厳しい日でしたが、5年ぶりのソーメン流しです。午前中にそー



めん流しの始まりです。「流します！」の合図とともに流れてくるそーめんを「わーきた」「わーとれん」などと、我先に得意顔で上手に箸ですくう子供達と和気あいあいの2時間の楽しい時をすごしました。

赤い羽根共同募金

今年も赤い羽根共同募金の季節がやってきました。募集期間は10月1日から12月27日まで。集められた募金は福祉のまちづくり推進事業に利用されたり、広島市の福祉団体に寄付されますので、助け合いの精神で、ご協力のほど、よろしく願います。

編集後記

稲刈りも始まり、スポーツの秋、祭りの季節となり、各地域で運動会、グラウンドゴルフ、秋祭り等多くのイベントが企画されていることと思います。
お彼岸が過ぎたとはいえ、まだまだ暑い日が続いています。水分補給をしっかりと行い、不慮の事故に気を付けましょう。

八木学区社会福祉協議会広報部
社会福祉協議会事務局
田中 (873-4236)
藪 (873-2218)

山へ帰ってね

